

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野(1/3)

	総合 評価 (IとIIとIII を1:1:2の 割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組 の進捗	支援措置の活用と 地域独自の取組の 状況	取組全体に わたる事業 の進捗と政 策課題の解 決	
ふじのくに防災減災・地域 成長モデル総合特区 (静岡県)	4.6	4.7  <b>進捗度</b> ・防災・減災機 能の充実・強 化 71%  ・地域資源を活 用した新しい 産業の創出・ 集積 131%  ・新しいライフ スタイルの実 現の場の創出 205%  ・暮らしを支え る基盤の整備 100%	4.2  <b>規制の特例等</b> ・6次産業化の 推進に関する 優遇措置の適 用要件の緩和 等  <b>財政支援等</b> ・多層的な地 域連携軸の形 成モデル事業 等  <b>地域独自の 取組</b> ・緊急地震・津 波対策交付金 等	4.7	<p>・広範な目標に適切に取り組んでおり、各分野で成果をあげているものと思われる。特に域内産業の創出と成長に係る取り組みは、特区としての支援措置を活かしつつ、県独自の事業を充実させていることで相乗効果が得られている点を評価したい。</p> <p>・堤防対策施設整備は、当初設定したペースでは進んでいないものの、地域との合意形成が進んでいることを評価したい。</p> <p>・新産業創出や移住促進では、内容・主体ともに多面的な取り組みの効果が継続して上がっている点が評価できる。内陸部と沿岸地域、住民と移住者の間で、事業格差による分断を生じさせないよう、既存資源と新規事業をつなぐ取り組みを充実させていきたい。</p>